

9 平成 25 年度 横浜市立図書館の予算と目標

(1) 予算

市立図書館 18 館の効率的な運営に努めるとともに、市民の課題解決や暮らしに役立つ情報の提供など、図書館サービスの充実を図ります。

【1】 図書館の運営

(単位：千円)

下段 () 内は平成 24 年度予算額

中央図書館運営費 中央図書館の施設管理・運営、広報、研修等 図書館情報システムの運用	652,853 (650,739)
地域図書館運営費 地域図書館 16 館の施設管理・運営等	204,770 (221,640)
調査資料事業費 図書館資料の収集・管理 図書館資料の整理及び書誌データ管理 図書館利用者の調査研究活動の支援	228,361 (236,976)
中央図書館利用者サービス事業費 中央図書館における資料の貸出・閲覧等のサービス提供 中央図書館の視聴覚サービスの提供	92,543 (100,247)
山内図書館指定管理事業費 平成 22 年 4 月 1 日に山内図書館へ指定管理者制度を導入したことにより、平成 27 年 3 月 31 日まで管理運営を指定管理者に委任	171,611 (171,611)
地域図書館司書補助業務委託事業費 都筑図書館及び戸塚図書館等の貸出・返却業務、及び図書館物流処理について業務委託	65,500 (65,500)
交通拠点での図書サービス機能強化事業費 交通拠点における図書館サービスポイント整備の実施計画作成に向けた調査・検討	2,000 (1,000)
地域とともにある図書館事業費 地域の各種機関や団体、市民と連携しながら、司書の専門性を発揮した企画事業を実施	990 (1,000)
学校連携・地域連携事業費 学校や地域と連携して読書活動を推進	1,821 (1,940)
図書取次サービス事業費 図書館資料の貸出・返却等の図書取次サービス事業	2,662 (4,182)
市立図書館のあり方検討事業費 市立図書館の管理運営及びサービスに関する調査検討	372 (231)
小 計	1,423,483 (1,455,066)

【2】 図書館の整備

(単位：千円)

下段 () 内は平成 24 年度予算額

地域図書館耐震補強・再整備事業費 港北図書館の耐震補強・再整備工事	400,000 (16,000)
--------------------------------------	---------------------

合 計 (【1】 + 【2】)	1,823,483 (1,471,066)
-----------------	--------------------------

(2) 平成25年度 横浜市立図書館の目標

目標1 司書の専門性を発揮したサービスを充実します。〈サービス目標〉		
取組項目	具体的取組	指標・目標値
蔵書再構成5か 年計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・中間振り返りを踏まえ、市民の課題解決に役立つ資料の収集を進めます。 ・寄贈図書 of 積極的な受入を推進します。 ・除籍資料の有効活用を推進します。 ・地域資料等の収集及びデジタル化を進め、利用の拡充を図ります。 ・定番図書など市民の課題解決に役立つ資料の重点収集を継続します。 ・子どもの本コーナー、ティーンズコーナーでは、調べ学習や読書活動支援のための定番図書、参考図書の充実を進めます。(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・参考図書、定番図書の受入冊数(対前年度比同数) ・寄贈図書、雑誌の受入冊数(対前年度比同数) ・市内の学校・施設等への譲渡冊数(対前年度比増) ・ホームページの「都市横浜の記憶」及び地域情報掲載ページへのアクセス件数(対前年度比増) ・子どもの本、ティーンズコーナーの受入冊数(対前年度比増)
子ども読書活動 の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動や調べ学習を支援する展示や企画事業を実施します。 ・保護者、保育者、ボランティア等、対象に応じた読み聞かせやわらべうたに関する講座を実施します。 ・児童サービスの向上のために、司書を対象とした児童サービスに関する研修を実施します。 ・関係部署と連携し、教職員や学校ボランティア等による学校図書館運営や環境整備を支援します。また、学校での読書活動推進を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動や調べ学習を支援する事業の実施回数、参加人数(対前年度比増) ・保護者・保育者を対象とした読み聞かせ講座の実施回数、参加人数(対前年度比増) ・教職員や学校ボランティアの支援件数(対前年度比増) ・教職員向け貸出冊数(セット貸出含む)(対前年度比増)
市民の学習活動・ 課題解決の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス※体制を充実させ、市民の課題解決を支援します。 ・大学・研究機関・関係局区等との連携を進め、レファレンスサービスを強化します。 ・市民の学習活動や課題解決を支援するため、様々な講座や企画展示等を実施します。 <p>※レファレンスとは、利用者の調べものや資料の相談などに対し、必要とする図書館資料の紹介や提供、情報入手の手助けを行うことです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス案内の掲示や広報の充実 ・市民向け講座の実施(テーマ・内容の充実) ・課題解決支援のためのテーマ展示開催やコーナーの設置(前年度比同数)
地域と連携した読 書推進活動の充 実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動するボランティア向けの講座の開催や地域の読書施設の運営相談を行います。 ・図書館で活動するボランティアの支援や育成を行い、市民との協働による活動を進めます。 ・地域と連携した企画事業を実施し、地域とともに読書推進活動を充実します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動回数、参加人数(対前年度比増) ・地域と連携した企画事業の実施(対前年度比増)
多文化サービス の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・外国につながる子どもたちの図書館利用を進めるため、市民と協働して外国文化を紹介する展示や外国語での見学会・おはなし会等の企画事業を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国につながる子どもを対象にした事業の実施回数、参加人数(対前年度比増)

目標2 効率的で効果的な図書館の管理運営を推進します。〈管理運営目標〉		
取組項目	具体的取組	指標・目標値
司書人材育成計画に基づく人材育成の推進	「司書人材育成計画」等に基づき、司書の専門性向上と人材育成に係る研修等を計画的に実施します。	基礎研修及び専門研修の企画実施(40回)
地域図書館の管理運営手法の総合的検討	<ul style="list-style-type: none"> ・山内図書館指定管理者選定評価委員会を開催します。(中央図書館、年5回程度) ・司書補助業務委託導入館(都筑図書館・戸塚図書館)について、平成23年度からの実施状況に関する評価を行います。 ・地域図書館の管理運営のあり方について、図書館内プロジェクトによる検討を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価報告書の公表(12月) ・司書力を活かした図書館サービスの向上及び効果的な図書館運営についての評価の実施(10月) ・地域図書館の管理運営あり方検討プロジェクトによる検討結果の中間報告(7月)、最終報告(2月)
市民の意見が反映される仕組みづくり	利用者懇談会・ボランティア団体等の交流会等の実施を踏まえ、市民の意見を反映できる仕組みづくりを推進します。	市民との意見交換会の開催(各地域図書館で実施)
身近で便利な図書館サービスの充実についての検討	市民に身近で便利な図書館サービスポイント設置に必要な整備計画策定に向けた調査・検討を行います。	
市立図書館における業務内容の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源の確保及び経費の節減を図り、広告事業等歳入確保について積極的な検討を進めます。 ・図書館情報システムの円滑な運用を推進し、より使いやすいサービスになるよう検討・改修を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広告導入等による歳入確保額及び節減額(対前年比同額) ・図書館情報システム改修(通年)

目標3 市民にとって利用しやすい快適な図書館づくりを進めます。〈独自目標〉		
取組項目	具体的取組	指標・目標値
市民への広報の充実	ホームページなどの広報媒体を有効に活用し、対象に合わせたわかりやすい情報提供を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・広報掲載実績(対前年度比増) ・ホームページアクセス件数(対前年度比増) ・記者発表数(対前年度比増)
利用しやすい図書館環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館における窓口サービスや電話対応の向上について、職場で討議し、目標をあげて取り組みます。 ・書架や施設の案内について、よりわかりやすい掲示を行います。 	サービス向上のための討議、取組、振り返りの実施
節電・省エネルギーの推進	空調・照明等の管理を引き続き行い、エネルギー消費量を節減します。	電力使用量(対前年度比減)